

令和8年度 学校経営方針

○東通学園校訓

『日進』 『感謝』

○東通村教育委員会指導の方針

『個を生かし、生きる力と夢をはぐくむ、こ小中一貫教育の中で、「学び」と「育ち」をつなげ、すべての子どもの「学ぶ力」、「育つ力」の向上を図る』

○東通教育委員会指導の重点

- (1) 学びをつなぐ
 - ・確かな学力の育成
 - ・自立した社会創造の担い手の育成
 - ・実践的コミュニケーション能力の育成
- (2) 育ちをつなぐ
 - ・東通村こ小中一貫教育推進協議会の取組の焦点化と活動の充実
 - ・こども園と小学校、小学校と中学校の円滑な接続の充実に向けた取組の実施と改善

1 教育目標

知性を磨き、豊かな心を育み、自主自立を目指す生徒の育成

2 努力目標

進んで学習し、課題解決できる生徒
互いに思いやり、明るく生活できる生徒
心身を鍛え、ねばり強く取り組むことができる生徒

3 学校経営の方針と重点

『生徒が成長を実感し、教職員も達成感を感じることができる学校』

(1) 目指す学校像（基本的な考え方）

本村は約300平方キロメートルという広大な面積の中に29の集落が存在している村であり、地域の唯一の中学校である東通中学校は、地域の期待を一身に背負っている中学校でもある。地域の人材の活用や学校評議員制度、地域学校共同活動等の行政の支援を受けながら、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を地域と共有し、社会に開かれた教育課程の実現を目指したい。

また、「よりよい学校はよりよい教職員集団が創る」という理念の下、新しい時代を主体的に切り拓く生徒を育成するために、まずは、本校の生徒に身につけ

させるべき資質や能力を明らかにして共有し、教職員がベクトルをそろえて取り組むことが大切だと考える。また、短いスパンでのPDCAサイクルを確立して、カリキュラムマネジメントを充実させ、教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っていくことで、地域や社会に貢献できる生徒を育成したい。

(2) 目指す生徒像

言える、動ける、響き合う生徒

- 具体的な目的・目標・見通しを持ち、視野を広げて活動できる生徒
- 自分がどのように考え、何が分かったか自覚し、伝えることができる生徒
- 培った力を生かしながら、より良いものをつくり出す生徒

(3) 本校の教育課題

- 確かな学力の向上
 - ・知識や技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力の育成
- 生徒指導の充実
 - ・社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達できる自己指導能力の育成
- キャリア教育の充実
 - ・グローバル社会で活躍できる「自立した社会創造の担い手」の育成

(4) 今年度の重点

①確かな学力の向上

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と指導計画等を整備する。
- ・「見通す」「実行する」「振り返る」の3つのフェーズを意識し、自己調整能力身に付けさせ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ・自分のための勉強である意識をもたせるとともに、家庭学習の質を向上させ、学習の習慣化と一人ひとりに合った学習方法を身に付けさせる。
- ・タブレットドリルや学習ツールなどを効果的に活用して、基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。

②生徒指導の充実

- ・いじめや不登校、問題行動などの課題の早期発見、早期対応に努める。
- ・生活アンケートや日々の生徒観察等により生徒理解を深め、教育相談活動を充実・強化させる。
- ・集団に個が没しないように自己存在感や自己有用感を実感できる学校行事を工夫し、学級経営を充実させる。
- ・一人ひとりの個性やよさの発見や可能性の伸張、自己肯定感を育むとともに社会的資質・能力を育む教育活動を推進する。

③キャリア教育の充実

- ・進学指導にとどまることなく、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す。
- ・職場体験学習や国際理解学習等の様々な体験活動を充実させ、基礎的・汎用的能力を育成する。
- ・職場体験や自分の意見を伝える活動を充実させ、興味・関心等に基づく勤労観、職業観を形成して、「人間関係形成・社会形成能力」や「キャリアプランニング能力」を育成する。
- ・総合的な学習の時間を活用し、自ら課題を見つけ、考え、仲間とともに課題を解決できる「課題対応能力」を育成する。
- ・自分にできることやしたいこと等、自分自身の可能性の肯定的な理解に基づいた「自己理解・自己管理能力」を育成する。

④豊かな心の育成

- ・道徳推進教師を中心として、全教職員の共通理解による組織的・計画的な道徳教育を充実させる。
- ・生徒の発達段階や実態等に基づいた明確な指導目標や学校や各学年での重点内容項目を設定する。
- ・道徳の授業を中心に、思いやりの心や多様性を受け入れられる柔軟な考え方を育成する。
- ・学校行事を中心としたさまざまな体験を通して、自己有用感や達成感をもたせると共に、自己並びに他者理解を深めさせる。

⑤保健・体育・健康教育の充実

- ・保護者や地域と連携した望ましい生活習慣の育成をとおして、自己管理や自律意識を高揚させる。
- ・身体的な安全を保障できるように常に配慮をして物的環境を整え、安全な教育活動を推進する。
- ・生徒と生徒、生徒と教員が温かい関係を築けるような人的環境を整え、安心できる学校生活を展開する。
- ・情報モラルや感染症予防等の知識の習得や交通安全、防災等を意識向上させる。

⑥社会に関かれた学校の推進

- ・地域社会と子どもたちに必要な資質・能力を共有し、連携・協働する「社会に関かれた教育課程」を実現する。
- ・PTA活動の在り方や活動内容を見直すとともに、保護者や地域のニーズや実態を把握して教育活動を展開する。
- ・学校評議員制度の活性化や地域学校協働活動との連携を強化するとともに、地域人材を効果的に活用し、より一層社会に関かれた学校を推進する。

(5) 先生方へのお願い

- ①教育公務員としての高い意識を持ち、法令違反や非違行為等を起こすことなく、全力で教育活動を進めてください。
- ②各教科の指導においては専門知識を有する指導者として、常に研鑽をつみ、「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善に努めてください。
- ③生徒に範を示す存在として、自らの言動や振る舞いを意識して、教育活動を進めてください。
- ④生徒の側において、生徒の思いや変化を感じ取れるような、良好な関係の構築に努めてください。
- ⑤保護者や地域との信頼関係を基盤にした教育活動を進めてください。
- ⑥生徒に寄り添い、生徒の自己肯定感を育み、達成感や成就感を体感させることを常に念頭に置き、生徒個々がもっているよさに生徒本人が気づけるような声かけ、支援、指導を心がけてください。
- ⑦人間関係のトラブルや生徒指導上の問題は様子見をすることなく、その日のうちに対応し、保護者に対しても丁寧に説明責任を果たすように努めてください。また、1人で抱え込むことなく、組織として対応することを心がけてください。
- ⑧全員が高い意識を持ち、互いに協働し、認め合う職場を作ることで、より良い教育を提供してください。
- ⑨それぞれの経営方針に基づき、目指す生徒像のビジョンを共有するとともに、「報連相確」を確実にいき、ベクトルをそろえて（方法は異なっても方向は一緒）教育活動を進めてください。